

# 第4期多摩区区民会議 第1回 コミュニティ部会

日時：平成24年12月5日（水）18：00～

会場：多摩区役所6階601会議室

## 次 第

### 1 第4期における具体的な取組内容

～前回議論の振り返りとまとめの確認～

### 2 取組方法、当面の進め方

#### (1) 取組方法

- ・優先順位の高いものから1つずつ取り組むのか、複数に同時進行で取り組むのか。

#### (2) 当面の進め方のイメージ

- ・勉強会、事例視察、ヒアリング、情報収集など
- ・第3回全体会（平成25年2月12日）までの目標

### 3 その他

#### 審議テーマ検討の観点

- ① 方向合致度  
→多摩区の目指すべき姿に向かったものか（ひと・水・緑-住み続けたいまち 多摩区（都市マス多摩区構想））。
- ② 市民協働性・実現性  
→市民協働の手法で解決できるものか。
- ③ 公益性  
→広く区民の利益をもたらすものか。
- ④ 区民ニーズ・必要性  
→区や区民の関心が高いものか、必要とされているものか。
- ⑤ 緊急性  
→第4期で取り組むべきものか、早急な取り組みが必要か、時宜を得たものか。

11月6日のコミュニティ部会 発言のまとめ

テーマ	問題意識	課題	方向性
<p>たまり場づくり</p>	<p>◇毎日開いていて、多世代、男女が集まり、談笑できるような場があるとよい。                  ◇そこに集まるのが楽しいと毎日やってくる人もいる。                  事例⇒麻生区虹ヶ丘空き教室利用                  世田谷区空き店舗、空き家利用                  松山市空き教室利用                  ふらっと（第4日曜日開催）                  鳥取の寺（土日に子どものための座禅としつけ）</p>	<p>◇多摩区は空き教室が少ない。学校はセキュリティが厳しい。                  ◇マンションには不特定多数の人が入れない。                  ◇町会会館は、自由な出入りは難しい。また、老人会、青年会などの会合で、空いていないことも多い。                  ↓                  ◇ふらっときて、いつでも開いている場所は、現実的にはなかなかない。                  ◇ハードだけでなく、そこで何をするかソフトが問題。                  ◇長期的にしっかりやろうという人材がなかなかいない。                  ◇何か仕掛けがないと、今の人は家から出て行かない。                  ↓                  ◇出てくる仕掛けがないと、集まらない。</p>	<p>◇保育園の園庭開放の利用が可能かもしれない。                  ◇しっかりやろうという人がいれば、町会会館の利用が可能か。                  ◇役所内のスペースは月～金まで誰でも出入りできる。専門性をもつ責任者がしっかりしていれば、一番行きやすい。                  ◇世田谷のように空き店舗を借り上げてやってはどうか。                  ◇「毎日ふらっと」が難しいならば、だれでもいつでもといった期待にはこたえられないが、スポーツセンターで目的をもった活動をやめることを第一歩にしてはどうか。                  ↓                  ◇楽しく人が集まるイベントをやる。（場所ありきでは難しい面もある）                  ◇「このタイプの施設はこんな風につかえます」といったモデル事業を試みる。                  施設活用例：老人いこいの家                  こども文化センター                  区役所                  町会会館                  空き店舗、空き家                  サミット、ダイエー</p>
<p>イベントポスター</p>	<p>◇区内のイベント一覧ポスターや冊子があると交流が進む。</p>	<p>◇イベントによっては、部外者の参加が難しいこともある。（町会費で運営している場合など）                  ◇イベントへの参加者が増えても、終わったら解散となってしまうと、コミュニティ交流にはつながらない可能性がある。</p>	<p>◇イベント情報を収集してみる。（ポスター等に掲載するには主催者への確認が必要か）</p>